群馬大学工業会
東海連合支部

第 43 回オンライン交流会（2026.10）

・開催日:2026 年 10 月 18 日（日） 18:00～20:30 （オンライン開催）
・テーマ:「般若心経をサンスクリット語原典から読み上げる」
・プレゼンター ： 関口輝男氏（岐阜支部　修 48K）
・参加者 ： 27名　詳細は 2 ページ

参加者の近況報告

今回は、群馬大学の情報メカトロニクス研究部の学生、佐々木北翔さんが初めて参加し、総勢 27 名の参加で、世代を超えた交流の機会となりました。

各地の天候や健康状態、旅行の思い出、大学での活動報告から始まり、学園祭での工業会の展示、農業関連のイベントなど、それぞれが関わる活動について情報交換しました。

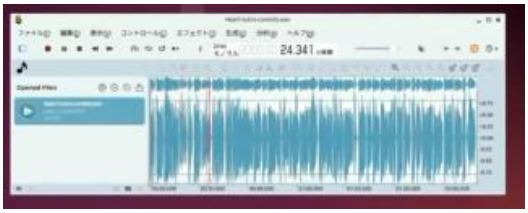
同窓会活動についても、卒業年度別の集まりの開催や、LINE を活用した情報交換などが紹介されました。

「般若心経をサンスクリット語原典から読み上げる」

関口氏は、般若心経のサンスクリット語原典を、AI を活用して音声に変換する取り組みを紹介しました。普段、私たちが耳にする般若心経とは異なり、原典の文字をもとに、コンピューターに読み上げさせようという試みです。

今回の取り組みの特徴は、単に文章を入力して音声にするのではなく、サンスクリット語という特殊な文字を扱い、原典に沿った読み声を作り出そうとしている点にあります。文字の入力自体が難しく、画像から文字を読み取る方法にも課題があるため、一文字ずつ確認しながら入力するなど、工夫を重ねているとのことでした。

実現に向けては、Python というプログラミング言語や、Google Colab などのインターネット上で利用できる環境、公開されている AI 関連ソフトウェアを活用しています。こうした道具を組み合わせることで、個人の趣味の範囲でも、費用をかけずに高度な技術に挑戦できることが紹介されました。



最後に PC からその般若心経の音声を流し、参加者もじっと聞き入っていました。

発表後の質疑応答では、コンピューターでの実現方法に加え、生成された音声が実際のサンスクリット語の読み声にどこまで近いのか、感情や抑揚を表現できるのか、といった質問が出されました。参加者の関心は、技術的な仕組みだけでなく、完成した音声の自然さや、原典を音声で味わうことの可能性にも広がりました。

今回の発表は、AI を専門家だけのものと考えるのではなく、身近な関心や趣味を出発点に、自分で調べ、試し、形にしていく面白さを伝えるものでした。

（文責：二宗光文 ４６M）

参加者

松永恒男	47C	愛知		松原郁也	修 56C	さいたま
清水堪藏	49C	愛知		小西憲二	修 49C	さいたま
鶴岡徹雄	44M	愛知		雨宮敏文	修 54K	川越
荒居正和	39S	愛知		星野義算	56C	高崎
二宗光文	46M	愛知		竹内光男	44M	高崎
阿部雅信	修47C	愛知		中村幸夫	41K	高崎
関口輝男	修 48K	岐阜		富澤敏明	52K	前橋
佐野武司	62W	三重		小林康泰	52S	桐生
阿部桂三	修 46S	三重		堤　章	修 53S	宇都宮
窪田健一	46W	三重		有北周平	修 47C	日立水戸
大河原秀康	46W	京滋		相原賢	40E	日立水戸
中村洋祐	修 54C	四国		倉林弘行	44C	平塚
森口敏生	50E	四国		諏訪原俊一	46K	千葉
				佐々木北翔	電子機械	学生 3 年